



か て い が く し ゅ う て び

家庭学習の手引き



大阪市立海老江東小学校

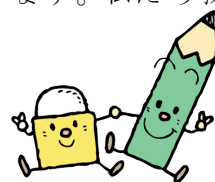
1. 学校と連携して家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし〜だと、どうなるのだろう」「なぜ〜そうなのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出会ってもくじけないでねばり強く積極的にチャレンジしようとする力が備わります。

家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となるのです。

家庭学習充実のために、この冊子を保存し十分に活用してほしいと思います。私たち教職員はそのお手伝いをします。



2. 家庭を「学び」の環境に

すすんで学ぼうとする力は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子どもは、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感から、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。

学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を大きく育てていきましょう。

「すすんで学ぶ力」をつけるために・・・

家庭が心がけること

◇ 生活リズムを整え、決まった場所と時間で、
学習に集中できる環境を！

◇ がんばりを認め、励まし
対話のある
温かいふれあいを！

学校が心がけること

◇ 基礎的・基本的な学力をつけ、学び方を教え、
主体性を育てる学習指導を！

◇ 子どものよさを生かした
家庭学習の提案を！

※ 家庭（保護者）と学校（教師）とが、家庭学習の習慣化をめざして協力し合うことが子どもの心を耕し、「学ぶ力」を育てます。

※ 子どもの家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

3. 家庭学習って なあに？

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

◎宿題…必ずしなければならない課題です。主に「読む」「書く」「計算する」などの基礎・基本的な学力を身につけることをめざします。

◎自学（自主学習）…自分で課題を見つけ、追求する力が育ちます。思考力や表現力など、社会人として必要な力が身につきます。

<例>

国語 ……漢字、意味調べ、視写、日記、音読・読み聞かせ、テストでまちがえた漢字を書いて覚え直す。

算数 ……計算練習、問題作り、実際に測って調べる、テストでまちがえた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。大事なことをノートにまとめる。

家庭・体育・図工 ……学習したことを家庭でも試してみる。

英語 ……学校で習った簡単な会話文をつかってみる。

※ その他、市販のドリルや問題集、テレビの教育番組や英語番組の視聴などに取り組んでみるのもいいでしょう。



4. 家庭学習でどんな力が身につくの？

基礎学力が確実に身につくだけでなく、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」、見えない学力（「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」）となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で身についていきます。社会人として必要な力でもあります。

5. 家庭学習で困ったら？

この手引きに、発達段階に合わせた参考例をのせています。取り組んだら、結果や考えをまとめるなどして家族や学校の先生に見てもらいましょう。相談するときにも役立ちます。

まず、できることから取り組んでみましょう。

家庭学習の3つのポイント

- ① テレビを消して、学習に集中する。
- ② きれいな机の上です。
- ③ よい姿勢です。

1・2年生

めあて：基本的な学習習慣を身につける

学習時間のめやすは…

15～30分(15×学年)

(低学年)



ポイント1	基本的な生活の習慣を身につける！ 「早寝、早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「机の上を整とんする」「テレビやゲームの時間を守る」などの基本的な生活習慣を身につけることが、これからの学習の土台となります。
ポイント2	愛情のこもったコミュニケーションを！ 小学校1、2年生の家庭学習には、家族の手助けが欠かせません。その際、「やったね！」「よくできたね！」などのほめ言葉がすばらしい意欲をうみだします。 学習習慣定着のためには、愛情あるコミュニケーションで、ねばり強く働きかけていくことが大切です。
ポイント3	家庭に学びの環境を！ 大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めることが大切です。 例えば、子どもにあった本を周りにおく、読み聞かせをする、などは非常に効果的です。

家庭学習の内容や方法

宿題(しゅくだい)

- ◆さいごまでやりおえることが大切たいせつです。
- ◆こまったときは、おうちの人ひとにそうだんしてみましょう。

自学(じがく)

- ◆すきな本ほんを、たくさんよみましょう。
- ◆楽しかったこと、うれしかったことを日記にっきに書かきましょう。

国語

- 楽しみながら大きな声で音読できるようにしましょう。
- 「、」や「。」に気をつけて、すらすら読めるように練習れんしゅうしましょう。
- 書きじゅんや文字の形に気をつけて書きましょう。
- 正しい姿勢しせいで、ていねいに書きましょう。
- できごとを文で書けるようにしましょう。



算数

- だしざんやひきざんが、正しくできるようにしましょう。
- 2年生は、九九がすらすらできるようにしましょう。
- まちがった問題もんだいは、もう一度やり直いちどなおしましょう。

チャレンジアップ ～できたらすごいよ!～

- 本ほんを読よむ。
- ひらがな、カタカナ、漢字の練習かんじ れんしゅうをする。
- 教科書きょうかしょを写うつす。
- 作文さくぶんを書かく。
- 日記にっきを書かく。
- 詩しを書いたり覚えたりする。
- ドリルなどをする。
- 問題もんだいをとく。
- 問題もんだいを作る。
- 定規じょうぎを使う練習つか れんしゅうをする。
- 生き物を観察する。
- 辞典じてんや図鑑ずかんで調べる。



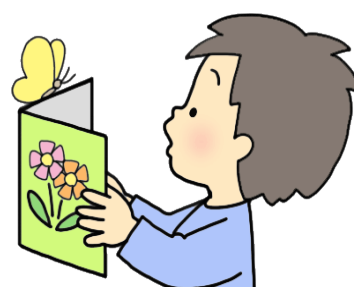
3・4年生

めあて：自ら学習に向かう習慣を身につける

学習時間のめやすは…

40～50分(10+10×学年)

(中学年)



ポイント1	自分でできることは自分で！ <p>小学校3、4年生は好奇心が旺盛となり、自立心も芽生えてくることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。だからといって、任せっきりにするのではなく、特につまずきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気をおこさせるうえでとても重要です。</p>
ポイント2	規則正しい生活の再確認と見直しを！ <p>時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自律心や学習への集中力を高めることにつながっていきます。特に、テレビやゲームなどの時間を家族で話し合いながら決めて、自分で守るようにさせていくことが大切です。</p>
ポイント3	意欲を引き出す言葉かけを！ <p>学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てきます。そのような時には、友だちや兄弟・姉妹と比べたりするのではなく、子どもの「やる気」を見逃さないようにして、ほめたり励ましたりすることで意欲を引き出していくことが重要となります。</p>

家庭学習の内容や方法

宿題(しゅくだい)

◆漢字や計算などは、必ず毎日ていねいにしましょう。

自学(じがく)

◆資料集や地図帳、辞典などをつかった調べ学習にも挑戦してみましょう。

国語

【音読】（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。（・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）

【漢字の練習】

- 新しく習った漢字や覚えていない漢字を練習しましょう。
- 漢字のへんやつくり、筆順ひつじゅんに気をつけて練習しましょう。
- 習った漢字を使って熟語づくりや文づくりをしてみましょう。

【読む】

- 好きな本や他の教科書も読んでみましょう。

【日記】

- 一日の中で楽しかったことや心に残ったことを日記に書いてみましょう。

【意味調べ】

- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。



算数

【教科書やドリルの問題】

- その日に勉強したところの問題をといたら、丸付けをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。
- 三角定規やコンパス(3年)、分度器(4年)などを使った作図の練習をしてみましょう。

【プリントやテストの問題】

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といていきましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

その他の教科

【社会・理科】

- その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。
- 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑ずかんや事典、インターネットなどで調べてみましょう。
- 社会科で勉強する地域社会の文化や産業について調べたり、理科で学習する自然にふれる体験をしたりするのもいいでしょう。

【その他】

- 家にある問題集をするのもいいですね。
- 音楽のリコーダーでならった曲を練習しましょう。
- ニュースや新聞記事を読んで、感想や意見を書いてみましょう。



5・6年生

めあて：予定を立てて自力で学習を進める

学習時間のめやすは…

60～70分(10+10×学年)

(高学年)



ポイント1	予定を立て、計画的な学習を！ <p>高学年として学校での役割が増え、委員会活動の仕事や打合せがあり、放課後が慌しくなります。</p> <p>充実した日々を過ごすため、その日の予定を立て、見通しを持って学習しましょう。必ず、学習する時間帯を決めましょう。</p>
ポイント2	今一度、基本的な生活習慣の見直しを！ <p>生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身につきます。「起きる時刻」「食事の時刻」「寝る時刻」などを決めてリズムのよいを生活しましょう。テレビやゲーム、コンピューターなどの時間がダラダラと長くなり過ぎていないかも再確認しましょう。</p>
ポイント3	目標に向かって努力することの大切さを！ <p>将来の夢や希望、勉強する目的や学校での様子、失敗談などを家庭で話し合い、目標を持って努力することの大切さについて考えてみましょう。自分がどれだけがんばったのかが大切な点です。</p> <p>伝記（偉人伝）などを読んで、人の生き方に関心を持つのもいいです。</p>

家庭学習の内容や方法

宿題

◆「読む」「書く」「計算する」といった基礎的な学力を身につけるために、くり返しの練習が大切です。

自学

◆自分で課題を見つけて、追求する学習にも挑戦してみましょう。

国語

- 朝読み、夕読み…教科書を音読し、音読カードにサインをしましょう。
- 詩は俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。それが終わったら、その漢字を使って短文を作りましょう。
- 視写はとっても大切です。教科書や新聞の記事など、字数を決めて視写に挑戦してみましょう。

算数

- 計算プリント、計算ドリルなどを使って、くり返し練習をしましょう。
- 自分で答え合わせをし、間違った問題はもう一度チャレンジしてみましょう。

その他の教科

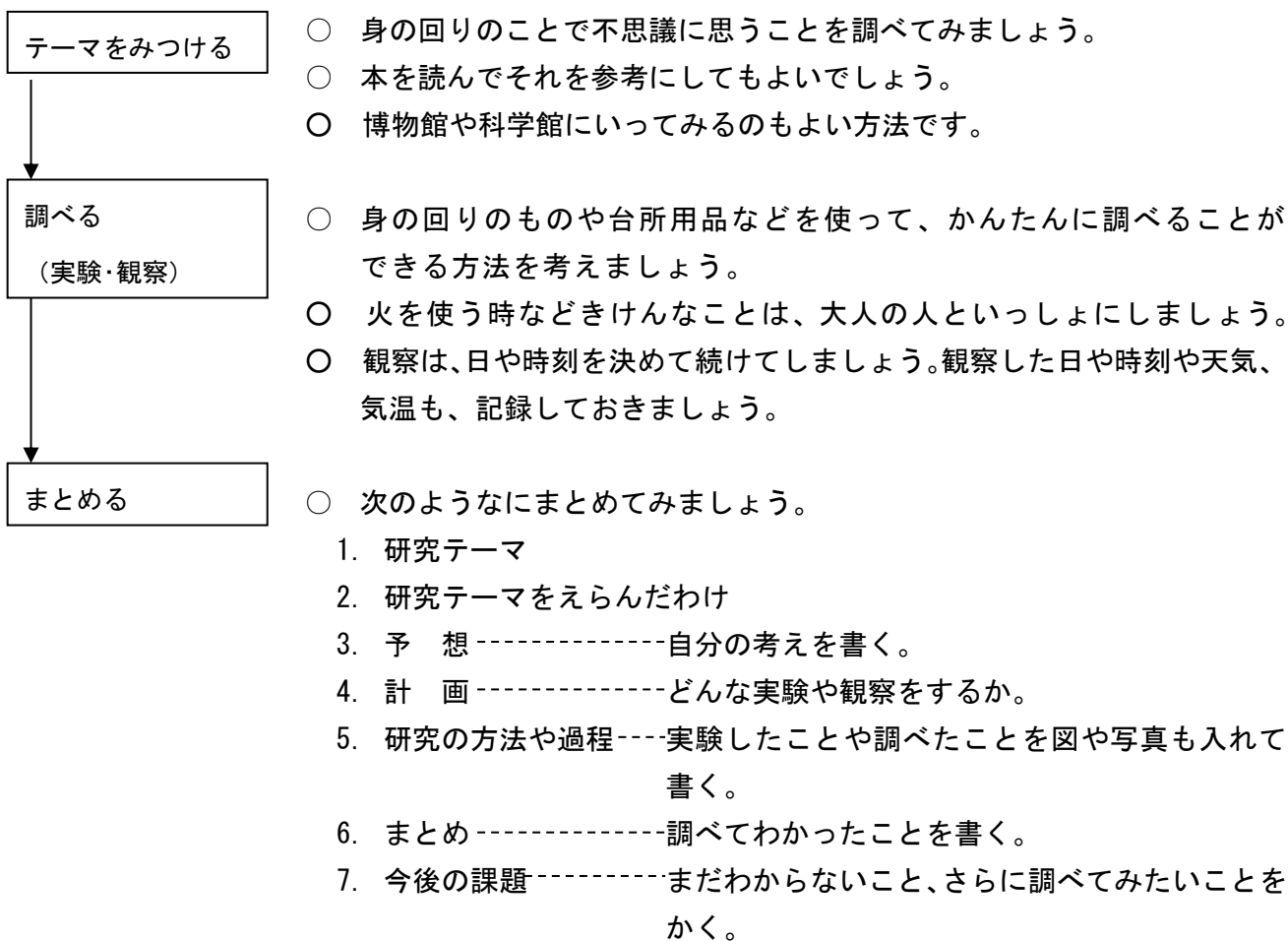
- 社会や理科など、どんどん自分から調べ学習をしていき、知識を身につけましょう。
 - 国語辞典をはじめ、いろいろな辞典(事典)をどんどん活用しよう。
 - 演奏できる楽器が一つでもあると生活が豊かになります。
 - 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践してみましょう。
- また、家事の分担を考え、できることをやってみましょう。



理科の自由研究に挑戦しよう！

参考：大阪市小学校教育研究会理科部 理科の自由研究より

日ごろから「不思議に思うこと」「疑問に思うこと」などを、そのまましないで調べてみることはとても大切なことです。また、それをできる力は生涯にわたって大切な能力であるとともに人の生活を潤いあるものにします。下を書いてあることを参考にして、自由研究や理科の工作に挑戦しましょう。



- ・ 採集したものがあるときは、整理し、わかったことをまとめましょう。
- ・ 写真にとっておいてもよいでしょう。
- ・ 採集するときには、計画的にしましょう。むだな採集はしないようにしましょう。

わからないことは、担任の先生やいろいろなところに相談してみましょう。

※こんなところへも行ってみましょう。

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|--------------|
| ・ 海遊館 | ・ 大阪市立科学館 | ・ キッズプラザ | ・ 大阪市立自然史博物館 |
| ・ さくやこの花館 | ・ いきいき地球館 | ・ 大阪市立の図書館 | |

自由研究のテーマ例

<p>【3年】</p> <p>マヨネーズをつくろう、しおのできるまで、モビールをつくろう、カタツムリを調べてみよう、もののうきしずみの実験、おもしろふえづくり、身近な草花の観察、海の水はどうしてしおからいの、音はどうしてきこえるの、アサガオの観察、せみのなき声としゅるいを調べてみよう、星はどうしてまたたくの、にじはどうしてできるの、手作りおもちゃを使ったゴムの強さ調べ</p>	<p>【4年】</p> <p>ありの生活、10円玉をきれいにしよう、雲の観察、とうふづくり、化石について、食べ物電池の研究、火星について、身近な植物の葉脈、ビオトープ新聞、せみの日記、巨大シャボン玉をつくろう、色の研究、ボールのはね方しらべ、結晶の研究、台風についてしろう、あたたかい色は何色、紙による水の吸い上げ方、万華鏡の作り方、水道水から塩素を抜く方法、カルキの調査・鉄分の調査、水のこおり方調べ、月と気温のうつりかわり、水の蒸発</p>
<p>【5年】</p> <p>ビタミンCの研究、家の中の使った水汚れ度チェック、生たまごはどんな水によく浮くのか、カビの研究、アイシャドウで指紋検出、天気＝予報と実際、さびやすさの研究、夏休みのお天気、地震はどうして起きるのか、私の町の大木と古木、アカミミガメは脱皮するのか、たんぽぽのバイオテクノロジー、食品添加物調べ、食塩の結晶、とう度のジューステストと着色料のテスト、石けんづくり、水道水のちがい、電池のしくみ、キャンドル作り、蚊取線香の作り方、タガメー産卵行動からふ化までの記録ー、野菜から紙をつくる、「あいぞめ」なるほどノート、排気ガスと植物の関係、流れる水のはたらき、水中の小さな生き物調べ</p>	<p>【6年】</p> <p>わさびやからしの防腐効果、水性ペンの色を分けよう、じゃがいも大研究、文鳥の卵はなぜかえらないのか、炭酸ジュースにたまごのかわはとけるのか、目指せ大きなシャボン玉づくり、酸性雨はなぜできる、手作り昆虫図鑑、空気の汚れ調べ、はがきの強さ実験、物は何日で土にかえるか、食べ物を合成着色料で染めよう、花の色の不思議、つめののび方調べ、すっぱさを感じるのは、大和川の自然、家の周りの生き物調べ、どの氷が一番とけやすいか、大阪の暑さは日本一なのか、ミネラルウォーターの硬度について、炭で電池を作ろう、ぼくの血液について、お菓子の色調べ、花が咲く時間の研究、花の効果、リンゴの変色をふせぐ実験、果物の皮でクリーン実験、植物の養分と水の通り道調べ</p>

※参考：西区自由研究の手引き、大阪府学生科学賞出展目録、自由研究理科科学クラブ（ホームページ）

できあがった作品は、次のようなところに出してみましよう。

◇大阪府学生科学賞……………必ず最後までやりとげた作品であること。
（4・5・6年）……………理科工作などの作品はだめです。

◇児童発明・くふう展……………理科工作作品です。本などの
（1～6年）まねをしたものはだめです。

算数の自由研究に挑戦しよう！

参考：啓林館「塩野直道記念 算数・数学の自由研究」より

1. 研究のテーマ(タイトル)

読み手が興味を引くテーマを、以下のようなことを感じてもらえるに書きます。

視点

- ◇役立ちそう ◇節約できそう ◇ぜひ読んでみたい ◇おもしろそう
- ◇そういえば気になっていたんだ ◇結果はどうなるんだろう

2. 研究のきっかけや目的

調べたいと思ったきっかけや体験、調べる目的を書きます。

視点

- ◇身の回りで、不思議だ！なぜ？と思ったことは？
- ◇どちらの値段が安くなるか、まよったことは？
- ◇このしくみは、だれがどんなきっかけで見つけたんだろう？
- ◇〇〇〇について、条件や図形をかえるとどうなるだろう？

3. 研究の方法や内容

考え方や調べ方、調べた内容を書きます。

視点

- ◇何を(内容)を、どうやって(方法)調べるのか。
- ◇調べたこと、インタビューしたことなどを、どうやってまとめるのか。(表し方)
- ◇表やグラフを使って示したり、わかりやすい見出しと短い文で要点を示したりする。

4. 研究の結果とまとめ方

わかったことをまとめて、自分の考えを伝える。

視点

- ◇実際に調べたこと、インタビューしたことをまとめる。(表や図でまとめる。デジカメなども活用し、読み手にわかりやすいように工夫する。)
- ◇場面を考えて、ちがいを見つける。
- ◇とちゅうで感じたこと、新しく気づいた内容なども記録する。
- ◇研究テーマについての自分なりのまとめを書く。

5. 感想と課題

よかったこと(思ったこと)や生活とのつながりを書く。

視点

- ◇算数のよさやきれいさ。
- ◇身近な事からを算数で解決できること。
- ◇算数レポートを書くよさ。
- ◇もっと深めたいこと(次の研究に向けての課題)

6. その他、参考にしたもの

参考にした本やホームページがあるときは、次のことを必ず書きます。

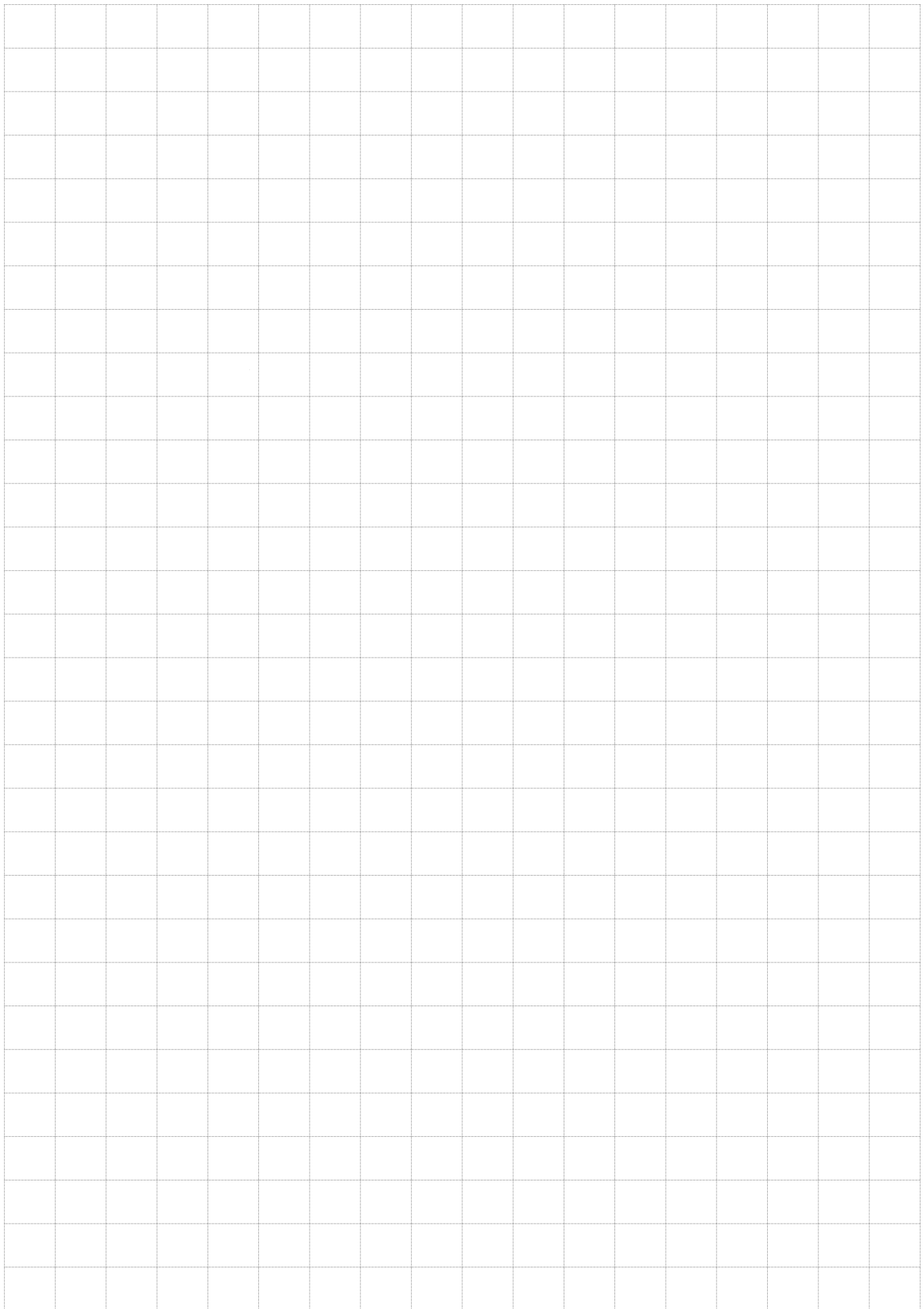
- ◇本の場合・・・著者名、書名、出版社名、発行年
- ◇ホームページの場合・・・ホームページのアドレス(URL)それを見た年月日

※ 塩野直道記念 算数・数学の自由研究 作品コンクール <http://www.rimse.or.jp/>

※自由研究用紙は、理科と算数とも共通です。

--

名前



海老江東小学校ホームページへは、
右のQRコードからお入りください。



※この「家庭学習の手引き」は、学校ホームページに掲載しています。

※「自主学習ノートの参考例(各学年)」を学校ホームページの上部タブ「学びの軌跡」に掲載していますのでご活用ください。

年	組	名前	
---	---	----	--